

令和5年度 授業評価結果

1. 授業評価の目的

千葉県立鶴舞看護専門学校では、教育の質の向上を図るため以下の3点を目的に授業評価を行っています。

- ① 授業の構築・運営の課題を明確化し、より良い授業構築に活かす。
- ② 自己の授業を振り返り、教育力向上を目指す。
- ③ カリキュラムの改善につなげる。

2. 実施方法

本校では令和元年度から授業評価に取り組んでいます。現在、授業・演習は13項目、実習は23項目で、4段階の評価尺度（とてもそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない）で実施しています。学生には、毎年4月に授業評価の目的、個人情報保護について方法を説明しています。授業評価は科目試験終了後に実施し、1週間程度で回答を締め切った後集計しています。

評価結果は、専任教員にフィードバックされ、授業開発に役立て、カリキュラム評価のデータとして活用しています。結果の公表に当たっては、学生・非常勤講師・専任教員に倫理的配慮の説明を行っています。

3. 授業評価集計結果

【基礎分野】 アンケート回収率：80%

	評価項目	平均点
1	授業に意欲的に参加した。	3.65
2	授業内容を理解し、目標を達成した。	3.53
3	自ら疑問点を見つけ、自分なりに解決しようとした。	3.51
4	授業を通じて考える力が身についた。	3.65
5	時間や内容の配分は適切だった。	3.51
6	教員の話し方はわかりやすく聞き取りやすかった。	3.42
7	授業のねらいや目標は明確に示されていた。	3.52
8	教員は学生の興味を引き出すような工夫をしていた。	3.61
9	教員は学生が考えや学習内容の理解を深めるためのサポートをしていた。	3.60
10	授業は自己学習への動機づけとなっていた。	3.51
11	教員は学生個々の反応を確認しながら授業を進めていた。	3.62
12	授業は自分の考え方や知識・技術の向上につながった。	3.60
13	この科目や関連領域への興味関心が増した。	3.57

【専門基礎分野】 アンケート回収率：75%

	評価項目	平均点
1	授業に意欲的に参加した。	3.50
2	授業内容を理解し、目標を達成した。	3.37
3	自ら疑問点を見つけ、自分なりに解決しようとした。	3.38
4	授業を通じて考える力が身についた。	3.40
5	時間や内容の配分は適切だった。	3.38
6	教員の話し方はわかりやすく聞き取りやすかった。	3.22
7	授業のねらいや目標は明確に示されていた。	3.43
8	教員は学生の興味を引き出すような工夫をしていた。	3.44
9	教員は学生が考えや学習内容の理解を深めるためのサポートをしていた。	3.42
10	授業は自己学習への動機づけとなっていた。	3.41
11	教員は学生個々の反応を確認しながら授業を進めていた。	3.41
12	授業は自分の考え方や知識・技術の向上につながった。	3.43
13	この科目や関連領域への興味関心が増した。	3.40

【専門分野】 アンケート回収率：69%

	評価項目	平均点
1	授業に意欲的に参加した。	3.52
2	授業内容を理解し、目標を達成した。	3.43
3	自ら疑問点を見つけ、自分なりに解決しようとした。	3.44
4	授業を通じて考える力が身についた。	3.48
5	時間や内容の配分は適切だった。	3.47
6	教員の話し方はわかりやすく聞き取りやすかった。	3.49
7	授業のねらいや目標は明確に示されていた。	3.50
8	教員は学生の興味を引き出すような工夫をしていた。	3.49
9	教員は学生が考えや学習内容の理解を深めるためのサポートをしていた。	3.49
10	授業は自己学習への動機づけとなっていた。	3.48
11	教員は学生個々の反応を確認しながら授業を進めていた。	3.49
12	授業は自分の考え方や知識・技術の向上につながった。	3.50
13	この科目や関連領域への興味関心が増した。	3.48